

イベント報告 1月のチャペルコンサート

参加者
20名

聖母学院コーラル・ラ・グリシン（女声合唱）の皆さん12名をお迎えしました。手遊び、懐かしい歌の数々にイマヌエルホールいっぱい笑顔と歌声が広がりました。



イベント報告 2月のチャペルアワー ～音楽のひととき～

歌の大好きな医療団職員有志で結成されたグループ「歌い隊」による合唱。病院内のチャペルで入院患者さんとスタッフのために行いました。春夏秋冬の唱歌にお話が添えられ、参加された方々に温かい思いが届けられました。

参加者
45名



イベント予告

5月のチャペルアワー ～音楽のひととき～

日時：5月18日(水) 15:15～15:40
出演：HA-江島礼子氏他による讃美とオカリナ演奏
会場：病院内チャペル(病院3階)

6月のチャペルアワー ～落語のひととき～

日時：6月15日(水) 15:15～15:40
出演：桂出丸氏による落語
会場：病院内チャペル(病院3階)

※催しは都合により中止・変更になる場合があります。また、ご入院中の方のみのご参加にさせていただきます場合もあります。ご了承下さい。

献金・献品感謝ご報告

(2011.1.1～2011.2.28) 敬称略

野口 真喜	野村 純世	辻 法子
生島 幹夫	西中 鈴鹿	荒川 昭子
松島 純子	寺井 証人	寺井 穂乃佳
田中 洋子	田中 愛子	金 度亨
鈴木 一志	井村 民枝	木村 淑子
今井 良治	今井 健之	今井 康生
長尾 治助	坪井清遊会	
和歌山バプテスト教会	富野バプテスト教会	
西南学院バプテスト教会		



バプテストで働きませんか

京都の北東、北白川の地に静かにたたずむ緑多い環境の中で、全人医療の技に励む私たちとともに働きませんか

採用情報 <http://www.jbh.or.jp/saiyou1.html>

編集後記

駐車場が整備されて一連の工事は終了。工事中は周辺の方々や利用者の方々にはご迷惑ご不便をおかけいたしました。完成した駐車場を見て改めて解体した本館が建っていた傾斜に感嘆。病院の建物の寿命は30年～40年。駐車場の敷地とを交互に建て替えるのがセオリーとか。40年後の山笑ふバプテストの丘の姿はどのようになっていることやら。(M.K)

日本バプテスト病院の基本理念は全人医療です。

人間は「からだ、こころ、たましい」からなる全人格的存在です。

当病院は、イエス・キリストの隣人愛に基づき、全職員がよいチームワークを保ち、専門的知識と技術を活かして、全人医療の業に専念します。



Interview

たくさんの生命の誕生の場である分娩室にて

全人医療の実践のために

日本バプテスト病院 江川 晴人
えがわ はると
医務部長 産婦人科部長

私が産婦人科医師として着任しました10年前は病院施設もかなり老朽化しており、お世辞にも清潔な病院というイメージではありませんでした。しかしながら、きれいな分娩室でお産をすることが当たり前になっているこの時代に、「この病院でお産をしたい。」と当院を選ばれ、多くの産婦さんがお産をされました。あの旧病棟の時代に当院でお産をされた産婦さんたちが求めていたものは、なによりも当院の基本理念である、「全人医療」であったのではないかと考えます。全人医療とは、個人個人の病のみならず、その方の人格や心の問題、あるいは家族の存在にも向かい合う医療の姿です。医療者と患者さんが互いに信頼してこそ成り立つ医療であると信じています。私たちはこの病院を選んで来られた患者さんに医療者として誠意をもって応える義務があるのです。

昨年10月に医務部長に任命されました。当院の医務部は、院長・副院長のもとに、34名の常勤医師と非常勤医師によって構成されています。すべての医師はそれぞれの専門的知識と技術を活かして診療にあたっていますが、多くの疾患を合併している

患者さんの場合には、複数の診療科にまたがって医師たちが相談をしながら診療することも少なくありません。昨年の第2期工事では、「医局」と呼ばれる医師全員がデスクを並べる大きな部屋が完成しました。セキュリティゾーンと呼ばれる、職員のみが立ち入りできるエリアの中にあります。ひとつの部屋に、すべての医師のデスクが備えられ、全員が毎日必ず出入りします。それまでの医局は小さな5つの部屋に分散していたのですが、この新しい大きな一つの医局が完成して、医師らが集まって診療について話し合っている光景を常に見かけるようになりました。医師同志が自然に顔を合わせて話し合う環境ができたことで、今まで以上に医師間でのコミュニケーションが充実し、よりよい診療につながるものと思います。

新しい病棟が完成し生まれ変わったような病院となったのちも、当院が伝統的に重んじてきた全人医療の理念は医務部の中に脈々と受け継がれていくはず。この理念を確かな約束として地域医療へ貢献できるように、この病院の医務部を支えるべく努力してまいります。

Relay Column

バプテスト リレーコラム vol.2

病院外来

外来看護師長
なかじま かよこ
中島 加代子



新しく拡張された外来をご紹介します。
昨年11月より栄養・服薬指導室・言語療法室が開設され、今年1月からは外科・整形外科の診察室も新しく移設されました。



栄養指導室には、食品模型やパンフレットなどが設置され、お話だけでなく視覚面から分かりやすい指導が行われ、また、医師が必要と判断すれば、当日患者さんは栄養士から個別にその方に合った食生活の指導が受けられるようになりました。



栄養・服薬指導室

服薬指導室では、必要時薬剤師が患者さんにお薬の効果や注意点を分かりやすく説明し、正しい吸入の仕方をデモ器を使って指導し、インスリンの自己注射の方法を丁寧に説明しています。
言語療法室では、脳血管障害等により失語症、構音障害、高次脳機能障害などでコミュニケーションの困難な方のために言語療法士が言語能力の改善に努めています。また嚥下障害で飲み込みが上手く出来ない方には、評価・訓練を実施しています。



外科診察室

外科・整形外科の診察室は、以前より広く車イスやストレッチャーでの搬入もスムーズにできるようになりました。



整形外科診察室

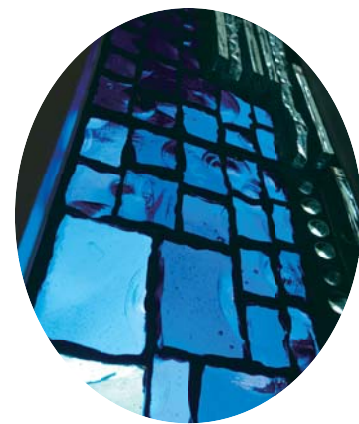
現在、平日の診察では1日に外科で平均25名、整形外科では平均33名の患者さんを受け入れています。中でも週末の整形外科の受診数は、拡張される以前の12月には1日平均16名だったのに比べ、拡張後の1月に平均19名、この2月に平均22名と伸びてきています。広く整った待合室や車イス用トイレを患者さんに喜んでいただいているのはもちろん、外来に携わるスタッフが心をこめて働いている成果だと感じています。



ステンドグラス グラスのかけら

Stained Glass

聖書のことば～語りかける魂のことば 第2回



人々はずぶやいた。
この人はどこでそんな知恵を手に入れたのか。
こんな奇跡を行う方法をどこで知ったのか。
イエス・キリストの故郷ナザレの村の人々は、
伝道の旅の途中に帰郷したイエスの姿を見てそういった。
この人はヨセフの子、大工だったではないか。マリアの息子じゃないか。私たちは彼の兄弟姉妹を良く知っている。
はなたれ小僧だったときから知っているあのイエスかと。
人々はイエスに躓いた。
人々の考える神聖なものとはもっと違ったものであった。
少なくとも大工の子であり、子供時分から知っているその人ではなかった。

「この人は、
大工ではないか」

マルコによる福音書
6章3節

私たちもまた人々がした間違いを犯さないように。
自分が知っているものと違うという理由だけで物事の本質を見失わないように。
聖は俗の反対にあるのではなく、その只中にあり、俗もまた聖の只中にある。
2000年前、大工として育ちその後神の国を伝えて旅したイエスは、
ローマの十字架にかけられ、おおよそ33年の生涯を終える。
聖書はそのイエスの復活を今も語り伝える。

はまもと きょうこ
牧師・チャプレン 浜本 京子



在宅のもつ意味

私が在宅ホスピスに勤め始めて1年半が過ぎます。その間、多くの方々を見送ってきました。ご本人やご家族にとって、がんという病名、予後数ヶ月という現状は、漠然とした不安と恐怖でしかなく、今後どうしたら良いのだろうという思いが、直に伝わってきます。そして、どの方も言われることは「ぎりぎりまで家に居たい」ということです。では、最期の時に人は病院に何を期待するのか？他でもない、死に対する恐怖を少しでも無くしてほしいということでしょう。家族の不安も大きなものがあります。しかし、現実はいささか違ってきます。病状が進み、日常生活がしんどくなってきても、日延べ延ばしに自宅で過ごすことを選ばれます。

私は7年間、ホスピス病棟での患者さんの様子を見てきました。今回、在宅での患者さんの様子を見ることで、改めて在宅と病院との違いは何かと考えてみました。はっきりと言えることは、緩和治療の方法としては全く変わらないということです。ご家族の不安感については、ど

こにいても一緒です。ただ、医療者がすぐ側にいるという安心感かもしれません。では、ご本人はどうか？何故、自宅にこだわるのか？それは、その方がこれまで生きてきた生活の歴史がそこにはある、自分の居場所がある、いつもの居間、いつもの椅子、そして家族の存在が肌で感じられる安堵感ではないでしょうか。在宅では、本当にぎりぎりまで自分のしたいことをして、自分で動き、誰に気兼ねすることなく休む。自分でも、そろそろ限界かな？と感じた時に最期の時は突然やってきます。時には緊急で入院を検討するような状況にもなりますが、大概はそのままご家族に看取られてということになります。最期まで自分らしくありたい。これが、在宅のもつ意味なのだろうと考えます。この患者さんの思いを私は支えたい。

在宅ホスピス緩和ケアクリニック よねいひろみ
看護師 米井 弘美

はーもにー

Harmony